



タイトル「川の災害について学ぶ ～自分たちでできること～」

開催概要

- 開催日時 令和元年12月11日(水) 9:50～11:40
- 開催場所 一関市立一関東中学校
- 参加者 3学年生徒約30名、先生2名
- 講座目的 過去の身近な災害から、自分たちが
できる事を考える

実施内容

講座については“災害が起きた際に、どのような行動を取ればよいか”という目的に沿い、雨や洪水の基本的なこと、カスリン台風から近年の洪水までを振り返りつつ、防災について説明しました。特に、施設では守り切れない洪水は必ず起こること、避難の重要性とマイ・タイムラインなどについて詳しく説明をしました。

生徒達は、普段は聞き慣れない用語があったり、長時間でしたが、まじめに耳を傾けている様子でした。

防災意識が薄れてきたと言われている今日にあって、こうした出前講座や学校の防災授業によって若い世代から防災意識が高まり、さらには地域全体で防災に取り組むようになる事を願います。

実施状況



熱心に話を聞く生徒達

